

青森と自分の未来を“カタリ”！「キャリアサポ」事業

大湊高校 ワークショップ

1 ワークショップに係る学校の要望等

企画の 카테고리	<input type="checkbox"/> 大学進学 <input checked="" type="checkbox"/> 将来の進路 <input type="checkbox"/> 多様な価値観 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション <input type="checkbox"/> その他
実施する目的	大学生と直接交流することで、視野を広げ、自分の目標を考える機会とする。
ワークショップ終了後の目指す姿	自分の目標や社会のことについて、積極的に考えることができるようになる。

2 要望を受けた上でのワークショップのテーマ

テーマ「道しるべ」

このワークショップのカテゴリーは「将来の進路（夢）、コミュニケーション」で、実施する目的は、「大学生と直接交流することで、視野を広げ、自分の目標を考える機会とする。」であることを踏まえて、テーマを「道しるべ」として進めます。

このテーマとした理由は、夢に向かって努力するとき、何か新しいことに挑戦するとき、常に「人と直接関わり、誰かのために行動できる人になりたい」というなりたい姿が自分の軸としてありました。この自分の中にある軸が、これからの進路選択や新たな挑戦につながり、そして自分を導き支えてくれるものになると考えたからです。これまでの生活の中で自分が大事にしていることやこれから大事にしていきたいと思っていることが自分の軸となり、夢をかなえるために努力するときも、夢を諦めざるを得なくなったときも、そして夢をかなえた後にも原動力になると考えます。

これらのことを、この企画を通して意識しながら進めていき、「大学生と直接交流することで、視野を広げ、自分の目標を考える機会とする。」というワークショップ終了後の目指す姿の達成を目指していきたいと考えます。

3 参加生徒数

第1・2学年 198名（男子87名 女子111名）

4 報告

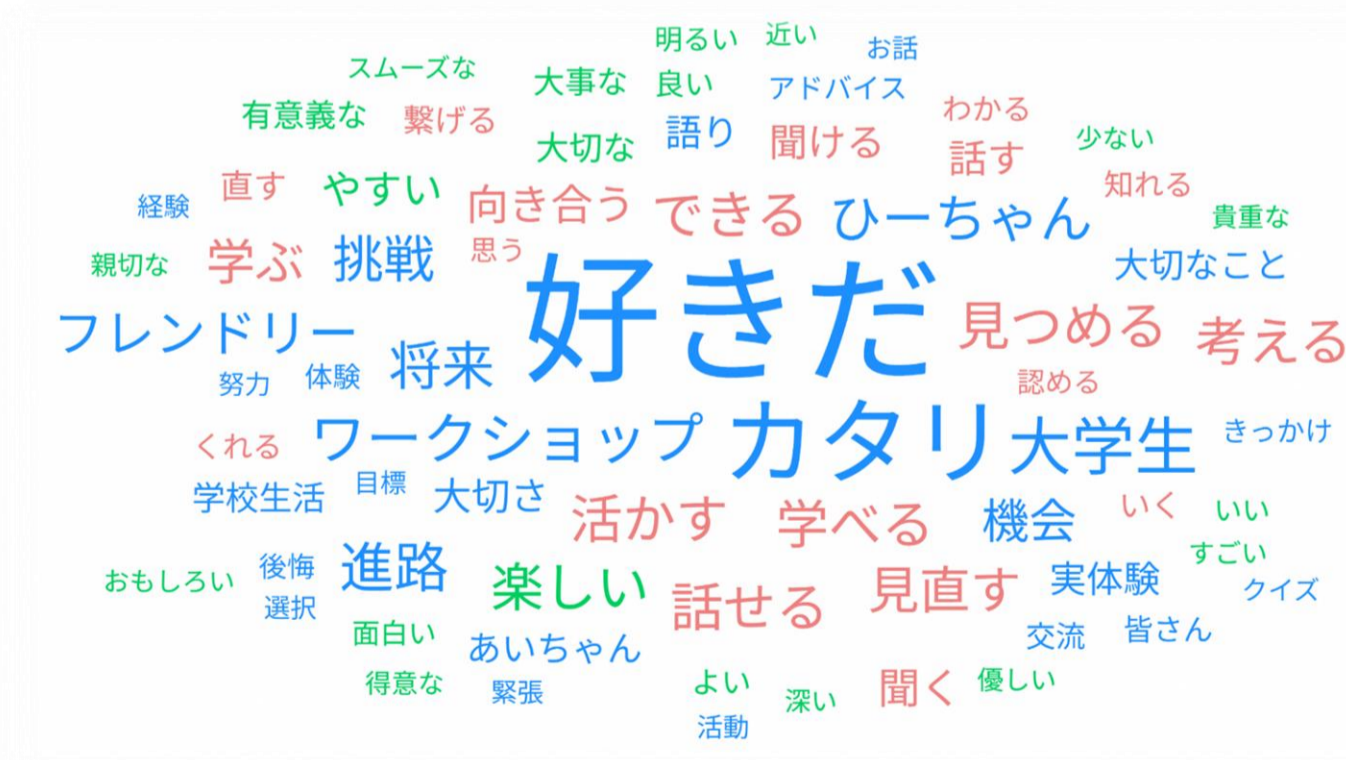
(1) 参加生徒へのアンケート結果（有効回答数188名、有効回答率94.9%）

ア 有意義度調査

1 ワークショップは有意義でしたか？	3.86
2 ワークショップでの活動において「今の自分・これまでの自分」を見つめなおす機会となりましたか？	3.84
3 ワークショップでの活動は「将来の自分・進路選択」について考える機会となりましたか？	3.84

※アンケートはすべて4件法で実施。数字が多いほうが高評価。

イ 自由記述によるテキストマイニング分析



とても楽しく有意義なワークショップで、ミニゲームやクイズで緊張がほぐれた結果、短時間でも多くを学べたと参加者は評価している。そして大学生の語りや実体験に触れることで親近感が生まれ、話しやすい雰囲気の中で率直に相談や雑談ができたため、人間関係やコミュニケーション面でも良い経験となり、参加者同士や大学生との交流が深まった。また大学生から直接アドバイスや具体的な学びを得たことが進路選択や将来設計の見直しにつながり、多くの参加者が今後の学校生活や行動に活かそうという意欲を持った。

(2) 学校へのアンケート結果

1 ワークショップの満足度は？	4
2 学校としての実施目的の達成度は？	4
3 生徒がワークショップへ参加している様子から、進路や目標を明確に意識できる様子が見られたか？	5

※アンケートは5件法で実施。数字が多いほうが高評価。